

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	桑野 愛	高校生の音楽2（教育芸術社）
必修 学校必修 ○必修選択 ○自由選択		

◆学習の目標

- ・音楽Ⅰの学習で身に付けた実技能力、表現力を更に高めるための各種実技学習を行う。
- ・進路希望に合わせた音楽理論や実技の実践を行う。

◆主な学習内容・方法

(1) 実技

音楽系大学への進学希望者には、副科実技と聴音および初見視唱能力向上を目指した学習を行う。また、それ以外の進路希望者には、各自の伸ばしたい能力に沿って実技課題を与え、生涯にわたって音楽を愛好できるような基礎作りを行う。

(2) 理論

音楽系大学への進学希望者には、楽典と和声の学習を行い進路実現のための音楽理論知識習得を目指す。それ以外の進路希望者には、各自が扱う実技の実践において必要な理論学習を行いながら、将来独学でも実技学習が行えるような学習をすすめる。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

到達目標：〔標準〕・音楽系大学進学者は、進路実現が可能となる副科科目知識と能力の獲得。

- ・音楽系大学以外の進路希望者は、各自が決めた実技実践力と表現力の向上。

〔発展〕・音楽系大学進学者は、受験内容以外の音楽教養（音楽史・楽典）の習得。

- ・音楽系大学以外の進路希望者は、演奏可能楽器の種類、表現の幅を広げる。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

- ・楽譜に書かれている音符、表現記号、強弱記号などをすべて理解し、それらを実技演奏で自己表現できる知識と技能を身につけている。
- ・音楽用語、音楽史等の理論知識を身につけ、鑑賞の際にそれらの知識を生かして楽曲を聴く技能を身につけている。

○思考・判断・表現

- ・楽譜を解釈し、それらを音で表現するために、どのような演奏方法が適切か思考・判断して実際に演奏で表現できる。
- ・楽曲の作曲背景、時代背景を判断し、作曲家の創作に込めた思いを思考しながら鑑賞で感じたことを文章や言葉で適切に表現できる。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・楽曲練習や鑑賞に主体的に取り組む、高度な表現力をもって演奏しようと練習時間を有効かつ積極的に利用して学習に取り組むことができる。

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期（26時間）、2学期（28時間）、3学期（16時間）
------	------	-------------------------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<ul style="list-style-type: none"> 音楽系大学進学希望者は、授業時に取り組む各課題に対して集中して取り組むとともに、予習、復習を欠かさず行い能力向上に努める。また、副科実技、理論学習それぞれが過不足なく習得できるように、自己の資質を見極めて学習計画を立てる。 音楽系以外の進路希望者は、生涯学習の第一歩として、興味、関心のある実技能力が更に向上するように授業に取り組む。そして、独学でも各種の音楽実践、鑑賞等ができるように、様々な音楽ジャンルに触れながら実践を積み重ねていく。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間 数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	オリエンテーション	1	進路希望、選択理由の把握 音楽Ⅰの復習	楽典基礎が説明できる。 ピアノを中心とした楽器演奏技能が身に付いている。 音楽史の基礎が理解できる。
	5	・実技 器楽の基礎 ・理論 鑑賞の楽しみ方	1 2	楽曲に合わせた楽器選択と実践 ピアノ演奏基礎	
	6		1 3	音楽鑑賞の心得と実践	
	7				
2 学期	8	・実技 器楽応用 ・理論 楽典基礎 鑑賞	1 2	楽器の演奏能力向上に向けた実技実践と、表現力の伸長	ピアノをはじめとした複数の楽器演奏についてそれぞれ身に付いている。 音楽史の基礎を理解し、楽曲の特徴を説明できる。
	9			1 6	
	10		楽典基礎、聴音、初見視唱の基礎 世界の音楽、日本の音楽の鑑賞		
	11				
	12				
3 学期	1	まとめ	1 6	実技、理論の総まとめ	1・2学期に学習した事柄が定着している。
	2				
	3				